

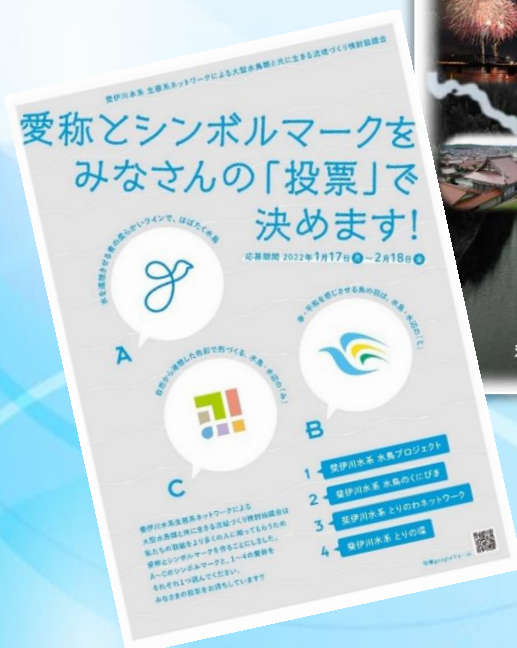
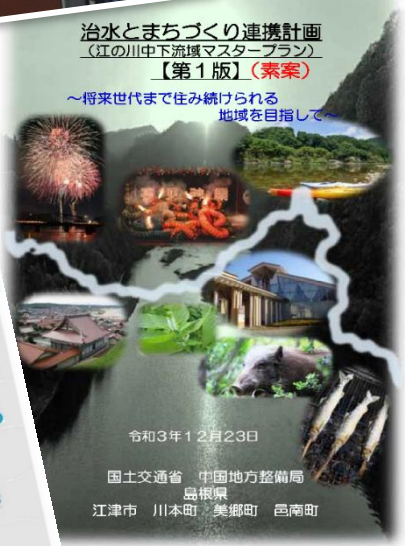
しまねの河川と海岸だより

令和3年12月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- ◆ 第1回 江の川水系下流支川域 川づくり検討委員会が開催されました 河川課 企画調査 G
- ◆ 山佐ダム体験交流施設管理組合が令和3年度（第41回）ダム建設功績者表彰を受賞しました 河川課 河川開発室
- ◆ 愛称とシンボルマークをみなさんの「投票」で決めます！ 河川課 企画調査 G
- ◆ 治水とまちづくり連携計画【第1版】（素案）についてパブリックコメントを実施します 河川課 企画調査 G
- ◆ 海岸漂着物に十分ご注意ください！ 河川課 防災 G



【新型コロナウイルス感染拡大防止のため】

・3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けましょう！



第1回 江の川水系下流支川域 川づくり検討委員会が開催されました

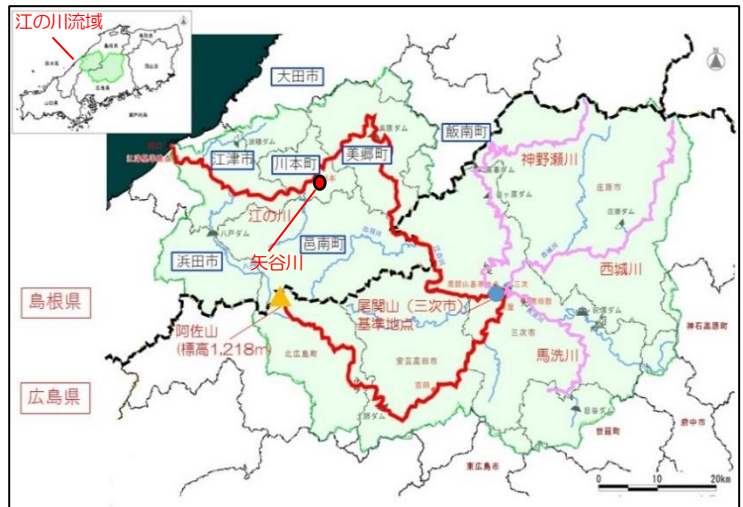
～令和3年12月21日～

河川課企画調査グループ

一級河川江の川は、別名「中国太郎」と言われており、島根県と広島県の2県に流域をまたぐ中国地方最大の河川で、流域面積 3,900km² のうち約3分の1が下流部の島根県側に位置しています。

江の川流域では、平成30年7月、令和2年7月、令和3年8月の洪水により、3年余りで3度の家屋浸水被害が発生しました。

江の川流域の治水対策とまちづくりを一体的に推進させるため、令和3年4月に国、県、関係市町及びUR（都市再生機構）で構成される「江の川流域治水推進室」を設置し、関係者が連携・協力し対策に取り組んでいます。



江の川支川の矢谷川（川本町谷地区）では、江の川本川からのバックウォーターにより家屋浸水被害が発生していることから、島根県と国土交通省は川本町のまちづくりと連携し宅地嵩上げによる治水対策を進めてきました。

令和3年12月21日に「第1回 江の川水系下流支川域川づくり検討委員会」を開催し、矢谷川の治水対策などを記載した「江の川水系下流支川域河川整備計画（第2回変更）」の素案について学識経験者の意見を伺いました。

来月に開催予定の第2回川づくり検討委員会でも再度有識者の意見を伺い、今年度中に河川整備計画の策定を目指します。

（※下流支川域とは、島根県側の江の川流域のうち、八戸川・出羽川流域を除く全流域）

【矢谷川の治水対策】

矢谷川は、川本町谷地内を流下し、江の川の左岸側に流れ込む流域面積約 18km² の河川です。

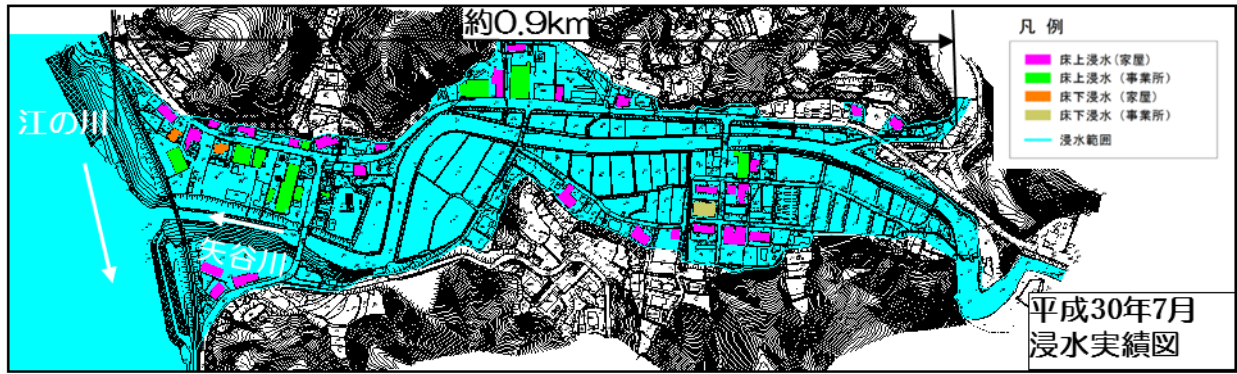
近年では、平成30年7月、令和2年7月の洪水で江の川本川のバックウォーターにより家屋浸水被害が発生しました。

島根県と国土交通省と川本町は、令和2年9月に地域住民の治水事業に関する意向調査を実施し、令和3年2月の地元説明会で、宅地嵩上方式による治水対策を実施することで合意が得られたことから、具体的な整備に向けて地域住民の意向を確認しながら計画の検討を行ってきました。

令和3年12月9日に地元説明会を開催し、谷地区のまちづくり構想（案）を地元住民に説明しました。今後、地元住民の意向を確認しながら谷地区のまちづくり計画を固め、概ね10年での事業完成を目指して島根県、国土交通省、川本町が一体となって取り組んでいきます。



(矢谷川の浸水範囲)



(平常時と出水時の河川の状況)

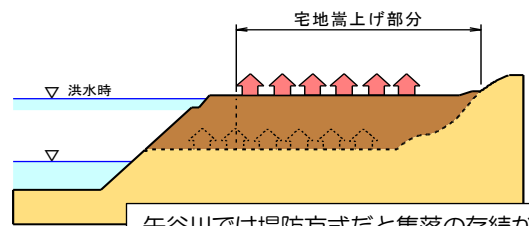
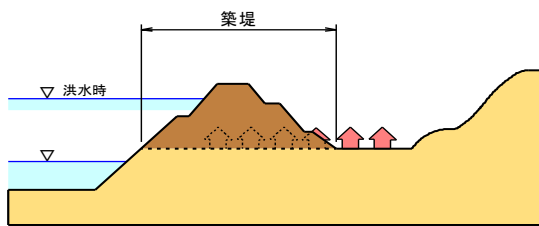


(通常の堤防方式と宅地嵩上げ方式の説明)

【通常の堤防方式】



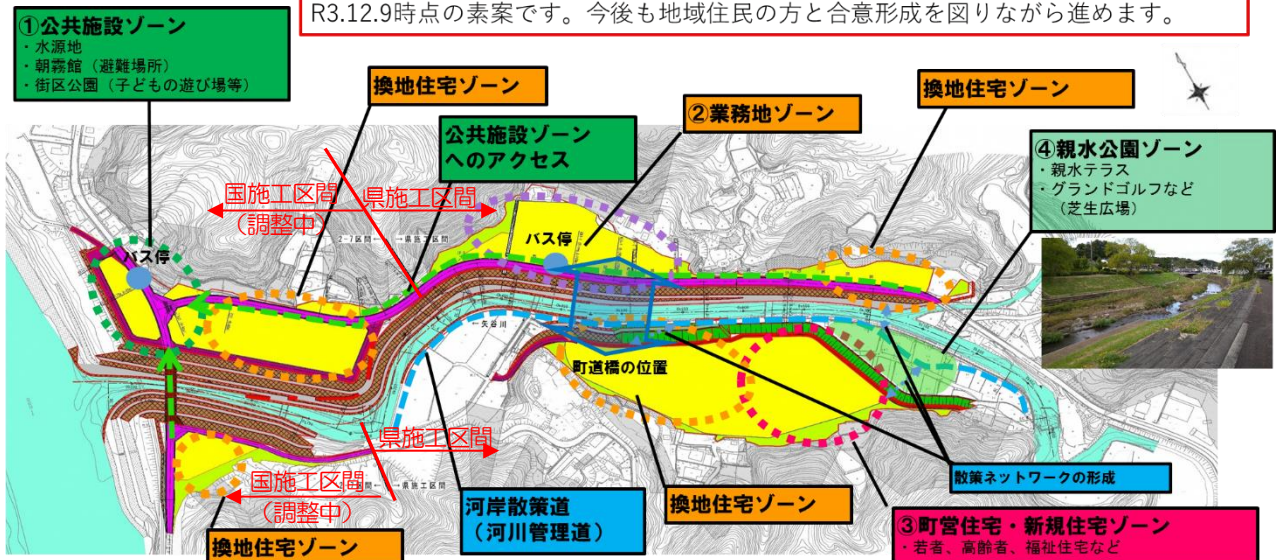
【宅地嵩上げ方式】



矢谷川では堤防方式だと集落の存続が困難なため、宅地嵩上げ方式で治水対策を実施

(川本町のまちづくり構想図(案))

R3.12.9時点の素案です。今後も地域住民の方と合意形成を図りながら進めます。



山佐ダム体験交流施設管理組合が 令和3年度(第41回)ダム建設功績者表彰を受賞しました

河川課 河川開発室

12月3日、令和3年度(第41回)ダム建設功績者の表彰式が東京都内で開催されました。

ダム建設功績者表彰とは、一般財団法人日本ダム協会がダム等建設事業の推進やダム等に関わる上下流交流などにあって顕著な功績のあった個人・団体を表彰するもので昭和56年度より実施されており、今年度は40名の個人と2つの団体が受賞されました。

そのうち島根県から「山佐ダム体験交流施設管理組合」が受賞されました。県管理ダムの関係者では初めて、「ダム等に関わる上下流交流に著しく功績のあった団体」として表彰されました。

山佐ダムではダム湖畔にバンガロー、キャンプ場等が昭和57年に整備され、その後、平成10年にはコテージや遊具、平成16年には山佐ダム体験交流施設として、そば打ち体験施設、食堂、休憩室等が安来市により整備されました。

昭和57年にこれらの施設を管理運営し地域活性化に寄与するため組織された「山佐ダム野営場等林間休養施設管理組合」を引き継ぐ形で、平成18年に「山佐ダム体験交流施設管理組合」が結成さ



表彰式の様子

日本ダム協会 押味会長(写真左)、
山佐ダム体験交流施設管理組合 福間組合長(写真右)
※撮影時のみマスクを外しています



れました。ダム周辺施設(体験交流施設、キャンプ場など)の管理運営を行いながら、ダム湖や施設を活用し、上流域の周辺住民と下流域の都市生活者の憩いの場となるようなイベントを数多く主催しており、その活動がダムに関わる上下流の地域間交流や相互理解の推進に大きく貢献したとして高く評価されました。

★主催イベント

山佐ダムキャンプ場まつり、グラウンドゴルフ大会♪ 山佐ダムのこの集い♠、手打ちそば体験、販売、春まつり❁(桜まつり)、山佐ダム記念式典の開催と記念誌の発行※ など

※5年ごとの周期で式典を開催し、記念誌を発行。

令和3年7月24日には、山佐ダム40周年記念式典を開催。



愛称とシンボルマークをみなさんの「投票」で決めます！

～斐伊川水系生態系ネットワーク会議の愛称とシンボルマークを決める「投票」のおしらせ～

島根県河川課企画調査 G

斐伊川水系の恵まれた自然環境を守り育て、農業や観光、環境教育に活かすことを目的に、
「斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」
が平成27年に結成されました。この協議会には、斐伊川水系に関わる行政機関だけでなく、自然環境に詳しい専門家や農業者、漁業者など多くの方が参加しています。

この協議会の取組みを、流域に暮らす皆様に、より身近に感じ、知ってもらうため、協議会の愛称と、シンボルマークを決める“一般投票”を行うこととしました。

愛称とシンボルマークを決める投票にぜひともご参加ください。

一般投票について

○投票期間

令和4年1月17日（月）～ 令和4年2月18日（金）

○投票方法

①投票用紙を用いた記入・投函

島根県河川課執務室に、チラシ兼投票用紙を置いております。

こちらにご記入いただき、併設している応募箱へ投函、または郵送・FAXにてご返信ください。

応募箱は島根県河川課執務室以外にも各地で設置予定です。

②ウェブサイトからの投票

以下のURL または QR コードから斐伊川水系生態系ネットワークのウェブサイトをご覧ください、ウェブサイト内にある投票フォームよりご投票ください。

なお、①の投票用紙にも URL および QR コードが掲載されています。

●URL

<https://sites.google.com/view/hiikawa-econet>

●QR コード：



斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

愛称とシンボルマークを
みなさんの「投票」で
決めます!

応募期間 2022年1月17日(月)～2月18日(金)

水を選ばせる鳥の翼の線は、はばたき水鳥

自然から湧出した色彩で形作る、水鳥、水辺の「ま」

春・平和を感じさせる鳥の羽は、水鳥、水辺の「ま」

1 斐伊川水系 水鳥プロジェクト
2 斐伊川水系 水鳥のくにびき
3 斐伊川水系 とりのわネットワーク
4 斐伊川水系 とりの環

斐伊川水系生態系ネットワークによる
大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会は
私たちの取組をより多くの人に知ってもらうため
愛称とシンボルマークを作ることにしました。
A～Cのシンボルマークと、1～4の愛称を
それぞれ1つ選んでください。
みなさまの投票をお待ちしています!!

投票googleフォーム

【愛称とシンボルマークの一般投票募集チラシ】

こうした取組みが広がり、活発になれば、身近な自然環境がより良くなり、地域の活性化につながると考えています。みなさまの投票をお待ちしております！

治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン） 【第1版】（素案）についてパブリックコメントを実施します ～広く皆様から意見を募集します～

江の川流域治水推進室（島根県河川課企画調査G）

江の川流域では平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨による洪水によって甚大な被害が発生したことから、令和3年3月に策定・公表した「江の川水系流域治水プロジェクト」において、『治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン）』を策定することとしています。

これは、河川整備とまちづくりが一体となった整備を行うことで治水対策を加速化させるとともに、将来世代まで住み続けられる江の川流域を目指すための基本方針などを定めたものです。

治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン【第1版】）

策定及び事業実施までの流れ

治水とまちづくり連携計画

（江の川中下流域マスタープラン）の策定【国・県・市町】

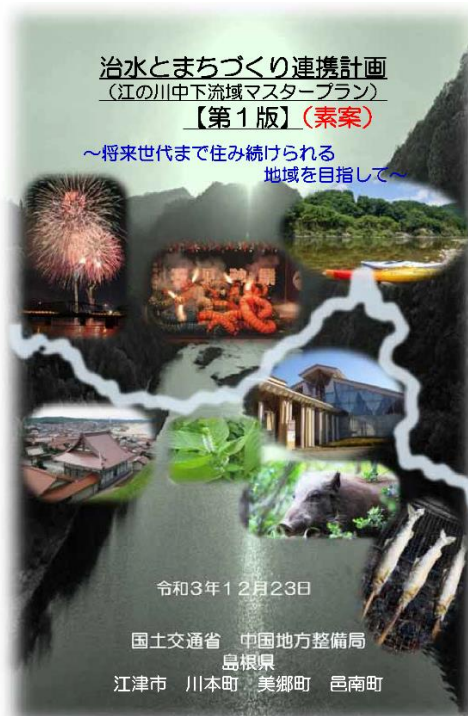
将来世代まで住み続けられる地域を目指して

- 沿川の災害リスク、人口・経済等の分析
- 将来イメージの策定（全体、地区別、等）
- 地域住民の意向調査（将来の住まい方、転居希望の有無等）
- 実施手順や事業手法の検討等

地区別計画の立案【国・県・市町】

- 地区別計画の将来イメージを具体化するため、集落や自治会単位で説明会、意見交換会を実施
- 住民の意向を把握するため、アンケート調査を実施
- 地区別の設計計画の検討、提示

まちづくりと一体の河川整備実施



江の川流域治水推進室（国土交通省及び島根県、江津市、川本町、美郷町、邑南町）は、令和3年12月23日に『治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン）（素案）』を作成し公表しました。

現在、『治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン）（素案）』について、広くご意見を頂くため、国土交通省浜田河川国道事務所のホームページにてパブリックコメントを実施しています。（意見募集期間：令和3年12月24日（金）～令和4年1月31日（月））

頂いた意見を踏まえ、令和4年3月下旬に『治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン）第1版』の策定・公表を目指します。

パブリックコメントの実施について

URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/suishin/masterplan.html>

（浜田河川国道事務所江の川流域治水推進室-治水とまちづくり連携計画）

海岸漂着物に十分ご注意ください！

河川課 防災グループ

風浪が強くなるこれからの時期は、ポリタンク、ドラム缶等が海岸に多数漂着します。

県下の海岸で平成31年1月～3月には、約700個のポリタンク、令和2年1月～3月には約250個のポリタンクの漂着が確認され、その一部には強酸性の液体などの人が触れると危険なものの入ったものがありました。

また、ポリタンク以外の漂着物も触れるとケガをするおそれがあるものもありますので、十分注意して下さい。

万が一、漂着または漂流しているポリタンク・ドラム缶等を発見した際は、手を触れずに最寄りの県土整備事務所（局）、警察署、消防署、市町村へ連絡をお願いします。



漂着していた物



ポリタンク



ボンベ



木造船



ドラム缶

危険だから
絶対触らないで！



【編集後記】 河川課 企画調査グループ 福島

今月は令和3年最後のだよりの発行になります。近年は全国的に気候変動の影響により自然災害が頻発・激甚化し、梅雨や台風の時期には被災のニュースが増えました。島根県も7月と8月に4回もの大雨が発生し、県内各地で被災しました。一日でも早く復旧するよう全力で取り組んでまいります。

明るい話題としては、今年の漢字に「金」が選ばれましたが、日本は夏に開催されたオリンピックで金27個、銀14個、銅17個、パラリンピックで金13個、銀15個、銅23個のメダルを獲得しました。

また、今月紹介しました「令和3年度（第41回）ダム建設功労者表彰」で「山佐ダム体験交流施設管理組合」が受賞され、表彰状とともに金メダルが贈呈されました。これも大変大きな成果でうれしいニュースでした。最後は明るい話題で今年一年を振り返りましたが、来年一年が良い年になることを祈願しています。

島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だよりのHP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



出前講座申し込み HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマホ版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/s>

携帯版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/m>



川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通 URL : <https://k.river.go.jp/>

スマホ版



携帯版

